

2007年2月26日

各 位

## 「Winny」による業務関連情報（個人情報を含む）の一部流出について

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：野木森 雅郁、以下「当社」）は、当社生産子会社であるアステラスファーマケミカルズ株式会社（以下「当該子会社」）において、取引先企業関係者の個人情報を含む業務関連情報が一部流出していたことが判明しましたので、お知らせします。

本件は、2007年2月21日に発覚したもので、当該子会社の社員の個人所有パソコンからインターネット上のファイル交換ソフト「Winny」ネットワークを通じて発生したものです。このような事態が発生し、関係する皆様に多大なご迷惑をおかけすることになりましたことを深くお詫び申し上げます。なお、現時点では、情報の不正使用などの事実は確認されておりません。

### 1. 流出した情報

#### 個人情報

- ・ 当該子会社の社員（退職者含む）（氏名および連絡先等の情報）：45名
- ・ 上記以外の方（取引先企業の方等）（氏名および連絡先等の情報）：194名

#### その他業務関連情報

- ・ 取引先に関する情報（会社名、住所、取引対象商品名等の情報）
- ・ 当社および当該子会社の営業上および技術上の情報

銀行口座番号やクレジットカード番号などの信用情報は含まれておりません。  
医療関係者の個人情報は含まれておりません。

### 2. 情報流出の経緯

上記社員が、当該子会社のシステムに保管されている2006年3月当時のデータのバックアップを作成する際、本来禁止されている、個人所有の接続型記憶媒体（ハードディスク）を使用して、同バックアップを作成いたしました。その後、当該記憶媒体が「Winny」がインストールされた当該個人が所有するパソコンに接続されたところ、当該パソコンがウイルス感染していたことで、記憶媒体中のデータが「Winny」ネットワーク上に流出しました。

なお、当該子会社および当社のパソコン或いはネットワークのセキュリティ自体が破綻したものではありません。

### 3. 関係者への対応

該当の関係者に対しましては、個別に報告の上、順次お詫びと事情説明をさせて頂いております。

### 4. 再発防止策

当社では、当該子会社を含むすべてのグループ会社において、これまで情報流出対策として、業務用パソコンについては、パソコン内へのデータ保管の禁止、パスワードの二重化、パソコン内ファイルの暗号化、「Winny」等の危険性の高いプログラムの自動検出と機能停止、USBなどの小型可搬媒体の暗号化と利用を制限するシステムの導入等を実施してまいりました。更に、個人所有パソコンの業務利用の禁止、非認証パソコンの社内ネットワークへの接続防止策を推進しています。しかしながら、本件のような事態を引き起こしたことを厳粛に受け止め、今後このような事態が発生しないよう、全グループ社員および委託先に対し、情報管理の更なる徹底・強化を図ってまいります。

以上